

LF101 細胞融合装置

Electro Cell Fusion Generator

アプリケーション

牛・豚・マウス・兎 クローン動物作成(体細胞・胚割球核移植)
植物プロトプラスト融合
動物細胞融合(モノクローナル抗体産生細胞)



特徴

牛・豚・マウス・兎等のクローン動物作成(体細胞・胚割球核移植)向けの仕様は、極めて高い(牛クローニングにて90%以上)
クローン動物作成仕様は、DCパルス電圧0~200Vの範囲で1V刻みの電圧設定が可能です。正確なスクエア波・パルス幅が設定値どおりに出力するので、融合細胞のバイアビリティが高い。
融合細胞のダメージ回復用ポストフュージョン機能が、On・Offスイッチで操作できる。

植物プロトプラスト融合や動物細胞融合仕様は、正確な交流でパールチェーンを作り、その後、電圧とパルス幅が精度良くコントロールされたDCパルス(最大950V)で融合を行うので、産出されるハイブリドーマの融合効率が高い。
自動及び手動印加(1~99回)ができるので操作が簡単。また印加間隔も0.1~9.9秒の間で設定でき操作の再現性に優れている。
ネッパジーンの販売経験から生み出された独自の多種多様な電極と組み合わせることにより、簡単に効率のよい遺伝子導入や細胞融合ができる。

仕様

交流

| | |
|-----------|----------------|
| 交流波形 | 正弦波 |
| 交流電圧 | 0~50Vrms |
| 周波数 | 0.1~3.9MHz |
| 時間 | 0~99s (1sec刻み) |
| ポストフュージョン | 0~9s |
| 接続負荷 | 50以上 |

*出荷時に選択

DCパルス

| | |
|-------|--|
| DC波形 | スクエア |
| DC電圧 | 0~950V (細胞融合仕様)* 0~200V (体細胞・胚割球核移植仕様)* |
| パルス幅 | 5~99 μ s (1 μ sec刻み) |
| パルス間隔 | 0.1~9.9s (0.1sec刻み) |
| パルス回数 | 0~99回 (自動、または手動) |

| | | | |
|----|----------------------|-------|------------------------------|
| 電源 | 単相 100V (50/60Hz) 2A | 寸法・重量 | 370W x 430D x 160Hmm, 12.7kg |
|----|----------------------|-------|------------------------------|

掲載商品の仕様及び外観は、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

ネッパジーン株式会社

TEL:047-306-7222
E-mail: info@nepagene.jp

FAX:047-306-7333
http://www.nepagene.jp